

アイポス通信

2025 年

7 月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

特集 日本の道を中国製の自動車が走り回る日？

2024 年の国別自動車の生産台数は、1 位中国 3,128 万台、2 位アメリカ 1,056 万台、3 位日本 824 万台となっています。中国の自動車トップメーカーは、上海汽車、長安汽車など名前が名を連ねていましたが、昨年の販売台数トップを飾ったのは、比亞迪（ビーヤーディ）自動車です。日本では BYD という名前が徐々に浸透して、街中でもたまに見かけるようになりましたね。対前年比 41.6% の販売台数の増加を記録して、一躍中国の販売台数トップのメーカーに躍り出た BYD、1995 年に電池メーカーとして創業した当初は従業員 20 名ほどの小さな会社でしたが 2003 年にプラグインハイブリッド車、そして電気自動車の分野に参入するや瞬く間に成長します。成長を支えたのは、人口 14 億人を擁する中国の国内市場でしたが、中国の景気低迷に伴い、その活路をやがて海外市場に求めるようになります。タイの自動車シェアはトヨタを筆頭に、一時は 90% ほどのシェアを日本車が誇っていましたが、ここ数年 BYD がタイ国内の新車販売シェアを伸ばし、じりじりと日本のメーカーの販売シェアは低下しています。そんな勢いのある BYD が今年 4 月に、日本の市場に 2026 年後半に軽の電気自動車（BEV）を投入すると発表したのです。日本の軽自動車の企画は日本だけのものですが、日本の新車販売 400 万台のうち、40% にあたる 160 万台は軽自動車が占める大きな市場です。一方で 160 万台のうち、電気自動車が占める割合はわずか 1% 程度とわずかです。ここに撃って出るのが BYD というわけです。中国の強みは電気自動車のコストパフォーマンスを左右する電池のサプライチェーンを国内で完結できる事です。車載電池の世界シェアの 6 割を持ち、電池生産に欠かせないレアアースに至っては 7 割のシェアを持っています。大国同士の交渉でも強気の姿勢を貫くのは、持てべき物を持っていることが大きな要因なのかもしれませんね。



? マネークイズのコーナー

NISA の普及とともに投資信託への関心が広がっています。「世界株オープン投資信託」の「オープン」の意味は次のうちどれでしょう？

- ① 指数に連動することを目指した投資信託
- ② 運用開始後いつでも購入可能な投資信託
- ③ 未公開株への投資を行う投資信託

今月のお知らせ

朝夕とセミの合唱が聞こえる時期になりました。しかし今年は鳴き声がとても小さいです。毎年うるさいくらいに耳に響いてくるのですが今年は遠くで鳴いているなという感じです。道を歩いていると羽化に失敗したセミ哀れな姿を多く見かけます。これはいつもと違うなと思い調べてみると全国的にセミの数は減っているとのこと。また今年は雨が少なくセミの栄養である根の部分の樹液が足りていないことや、涼しい日が続いて急に暑くなった為、地温 20 度以上が数日つづいて夏を迎えるというセミが羽化に必要な条件が揃わずタイミングをつかめなかったと思われるそうです。

コラム マイナンバー紐づけ口座が6300万口座

給付金を受け取るための預貯金口座を、国（デジタル庁 2021年に発足）に登録する制度を「公金受取口座登録制度」といい、足元で登録の口座数は6389万口座に達しました。2024年末時点で、1億11万枚マイナンバーカードが発行されていますから、3人に2人程度の割合で、口座を登録していることになります。口座情報はマイナンバーカードに紐づけられており、その主たる狙いは、税控除と給付を同時に実施する「給付付き税額控除」を実現するための前提となるインフラです。税額控除の仕組みはこれまでも施策の一環で実施されることはありましたが、所得が低い人はそもそも控除する税金がなく、その恩恵にあやかれないことが課題とされていました。税金で控除できない分を現金で給付できるように口座情報を取得して、その実現に向かおうと2012年の社会保障・税一体改革大綱で「導入に向けて検討を始める」と記されましたが、まだ実現には距離があるとされています。本来はこうしたプッシュ型の支援に繋げる目的での口座情報の取得ですがその論点では広がらず、広がるきっかけを作ったのは新型コロナウイルスを受けて、政府が特別定額給付金を支給した際に給付に時間がかかったことが引金となりました。今夏の参院選挙でも、与党は2万円の給付を公約に盛り込んでいますが、実現の場合はこのようなインフラが整っていると迅速に便利に給付できることになります。あるべき使い方・方針は決まって10年以上の年月が経ちますが、実現はしておらず、その代わり便利さに焦点が当たって広がるのは少し複雑な気持ちにもなります。紐づけ口座の事を日常的に気にする人はまずいないと思いますが、インフラが何に使われているかを知る事は、全体を考えるきっかけの一つになりますね。



A マネークイズの答え

答えは②です。「追加型投資信託」とも言い、基本的に自由に購入することができます。これに対クローズ型（単位型）投資信託を購入できるのは、決まった募集期間のみです。最近オープン型の投資信託が主流になっています。一口に投資信託と言っても、対象（株式、債券、不動産）、地域（国内、海外、アメリカ）、手法（インデックス型、アクティブ型）など様々あります



編集後記

ここ数年、体力の衰えを感じるが増えてきていました。その流れを何とか断ち切りたいと、今年は運動のアプローチを変えて、長くならだらを止めて、短く集中。これがしっかり機能してくれたのか、伊勢志摩トライアスロンでは、近年出なかった好成績が出ました。アプローチを変えると、また違う世界が見えてくるもの、今見える世界はどうもほんの一部の様子です。まだ見ぬ世界をもう一歩見てみたいくなりました。



発行

一級ファイナンシャルプランニング技能士

CFP 宅地建物取引士 相続コンサルタント 森拓哉

大阪府茨木市園田町 6-1 フィールドア 2 階 (株)アイポス

電話 072-634-3331 メール info@i-pos-co.jp





2025年7号

続編 ～ 森 拓哉の活動記 ～

トライアスロンシーズン無事終了

5月 白浜大会



バイクはまさかの34位/511人完走、暑かったですが、頑張りました



7月 伊勢大会

2025.07.06

今年も無事にトライアスロンシーズン終了です。去年に続き今年は2レースに参加しました。伊勢は50歳を迎えての初レース。思わぬ好成績(総合64位)が出て、まだまだ出来る！？と自分に期待が持てました。一緒に出場してくれたお友達に感謝です。やっぱり張り合いができるんですねー(^o^)

相続café好評開催中

Q1: 相続カフェに来ての感想、良かった点を教えてください。

親身になって話を聞いて頂き、自分の中で見つかり、とても助かりました。

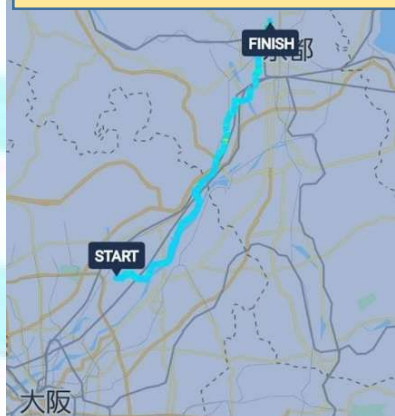
Q1: 相続カフェに来ての感想、良かった点を教えてください。

とても丁寧な印象です。筋道も考えやすかったです。いり 言葉に、すっきりわかりました。



毎月開催の相続カフェ、よろず相談の気持ちで続けていますが、毎回ありがたいお声を頂いています。交通整理して、進みだすと、モヤモヤが晴れて、すっきりして頂けます。

娘希望！京都の祖父母宅まで歩いて



タイム 10:19:52

距離 40.03km

冒険好き長女の強い希望で、家内の実家まで40キロを歩いて行きました。最後は走り出す余裕！義理の父が手掛けた屏風も何点か出ているということで、車で合流した家内たちと一緒に国立博物館の展覧会に行っていました。

↑ 家内と末っ子



地元の子育て支援ひろばのお金の勉強会に呼んで頂きました。NISAに向けて一歩踏み出された様です。



株式会社iPos(アイポス)